

ケニア森林公社総裁・ケニア森林研究所次長が来訪

平成27年7月、ケニア森林公社のムゴ総裁とケニア森林研究所のキゴモ次長が来日し、沢田治雄森林総合研究所理事長を表敬した後、林木育種センターを訪れ渡邊聡所長らと懇談しました。翌日は、林木育種の進め方や最新の研究開発、優良品種の普及方法などについて説明を受けた後、各施設を視察して意見交換を行いました。

ムゴ総裁は「ケニアは、現在7%弱である森林率を2030年までに10%とすることを憲法や国家発展計画に掲げており、国土の約8割を占める乾燥地・半乾燥地の植林が大きな課題となっている。日本の協力によって乾燥地耐性育種プロジェクトが良い成果をあげつつあることが我々に希望と自信を与えており、心から感謝する。今回の来日で学んだことをケニアで活かしたい。」と述べ、キゴモ次長は「林木育種の各種研究開発が深く掘り下げて行われ、品種開発という大きな目標に向かって相互に連携して進められていることに強く感銘を受けた。ケニアにとって最適なお手本になる。」と感想を述べられました。



沢田理事長を表敬訪問



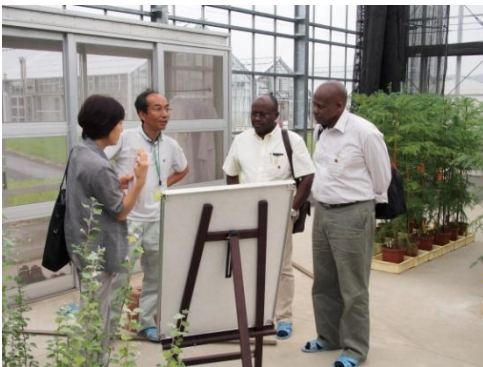
林木育種センターで渡邊所長と懇談



林木遺伝資源保存施設でジーン
バンク事業の説明



人工気象室での実験について視察



特定網室で研究内容の説明



エリートツリーの説明を聴く両氏



熱帯温室で増殖技術の開発
を視察



原種園で育種種苗の配布方法を視察